

セーフコミュニティについて

郡山市では、市民総参加により「セーフコミュニティ」に取り組んでいきます！

【概要】

セーフコミュニティとは、「けがや事故などは偶然の結果ではなく、原因を究明することで予防することができる」という基本理念に基づいて、その傷害予防活動に重点を置き、地域社会全体が協働により安全・安心の取り組みを行っている地域のことです。



1989年（平成元年）、WHO（世界保健機関）地域安全推進協働センターにより国際認証制度が開始され、平成27年2月時点で、国内では10都市（世界では347都市）が認証を取得しています。郡山市でも、平成29年度の認証取得を目指して、セーフコミュニティ活動を推進しています。

【期待される効果】

セーフコミュニティ活動では、専門機関や行政機関、学識経験者などが保有するさまざまなデータを分析することにより見えてくる地域課題を解決するために、町内会をはじめとする地域活動団体や企業、行政等が行っている安全・安心の取り組みに、分野の垣根を越えて専門家による評価検証を加えることで、より有効で根拠のある取り組みを展開することを目指します。

このことにより、次のような効果が期待できます。

- (1) けがや事故の減少により、市民の誰もが希求する「安全・安心」が向上する
- (2) 安全・安心への取組みを通じて、地域住民、関係機関、各種団体と行政が協働することにより、情報や連帯意識を共有できる
- (3) 国際基準による安全・安心の取組みを行う自治体として地域イメージが向上する

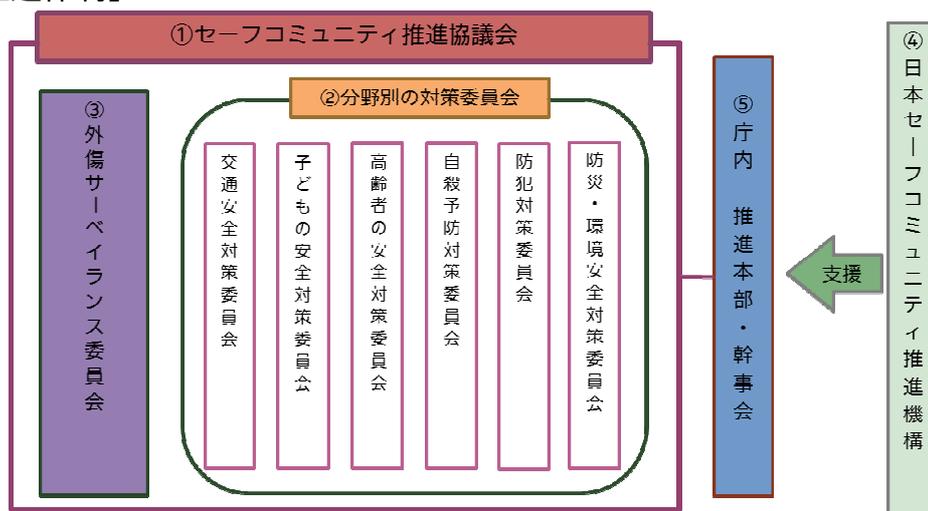
【各町内会での取組み】

郡山市自治会連合会には、次ページの推進体制において、セーフコミュニティ推進協議会、分野別対策委員会の一員として重点課題の解決に取り組んでいただきます。

各町内会においても、専門家による評価検証に基づき、家庭や地域内でのけがや事故の予防活動に努め、みんなでセーフコミュニティを推進していきましょう。

（問合せ）市民安全課 セーフコミュニティ推進室 Tel924-2151

【推進体制】



①セーフコミュニティ推進協議会…市長を会長に、自治会連合会等の地域活動団体、関係機関等の42団体で構成され、分野の垣根を越えた全市的な組織です。

②分野別の対策委員会…交通安全、こどもの安全、高齢者の安全、自殺予防、防犯、防災・環境安全に関する6つの分野別対策委員会を設置します。対策委員会は、それぞれの分野の関係団体や自治会連合会等で構成され、年10回程度会議を開催し、各分野で取組む重点課題を決定するとともに、その課題解決に向けて様々なデータを収集してセーフコミュニティ活動に取り組んでいきます。

③外傷サーベイランス委員会…地域医療の関係者、学識経験者（大学教授等）、関係機関（警察・消防等）、市職員等で構成され、外傷等のデータ収集・分析を行うとともに6つの分野別対策委員会の活動を評価検証する機関です。

④日本セーフコミュニティ推進機構…社会及び地域、公共空間、家庭等の安全・安心の推進に関する調査及び研究、普及啓発及び広報活動、教育研修等、国際認証に関わる支援及び助言等を行う団体です。

⑤推進本部・幹事会…行政としての取組方針を決定する市内機関です。

【認証取得までの流れ】

